

豊東小だより

令和3年6月1日 6月号
練馬区立豊玉東小学校
校長 梅津 靖子

学びの環境を自分たちでつくる

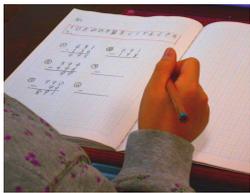
校長 梅津 靖子

様々な色のアジサイの花をあちらこちらで見かけるようになりました。アジサイを見かけるようになると、もうすぐ梅雨入りです。季節の変わり目ですので、心身の体調管理には十分に気を付け、感染予防も継続してお願いします。

さて、1年生と一緒に生活科の学習で出かけた江古田の森公園にも、ガクアジサイがきれいに咲いていました。1年生は、アジサイだけでなく、葉っぱに触れてはその感触を確かめたり、花を見つけてはその香のよさに気付いたり、ヘビイチゴの鮮やかに色に驚いたり、五感をはたらかせて自然に親しんでいました。植物だけでなく虫や生き物にも興味津々で、児童の一人が生き物を見つけると周りの児童も集まってきて、目をキラキラさせて観察しています。ダンゴムシの雄雌の違いが分かる児童もいて、ダンゴムシを手に乗せて嬉しそうです。興味・関心は学びの第一歩です。友達との関わりを大切に共々学習すると、興味・関心は一層高まり、学びが広がり深まっていきます。



3年生の算数の授業では、設定されたルールに合わせて、3けたのひき算を繰り返し行うという学習に取り組んでいました。この学習では、繰り返して筆算をすることで計算の仕方を定着させるとともに、その答えから規則性を見出すことを通して、数の不思議さやおもしろさにふれ、さらに学習をしようとする意欲を高めることを目標とした授業でした。子どもたちは集中して6回分の筆算に取り組み始めました。計算を終えた後には、その答えを見て気付いたことを発表します。次々と手が挙がります。友達の発表をよく聞いて、「同じ同じ。」「えっ。本当だ。」「そうか。なるほど。」などのつぶやきが聞こえてきます。気付きを発表する度に、すっかり数のおもしろさに引き込まれているようでした。さらに、自分で決めた数字でも、同じ規則性があるかどうか確かめる計算にもチャレンジしました。授業が終わった後に、「算数はおもしろいから大好き。」と話してくれた児童もいました。



5年生の道徳の授業でも、題材の話に出てくる児童の言動について、「何だかちょっと違う。その考えに異議あり。」「うん、うん。ちょっと変だね。」とつぶやく声が挙がり、自分の考えを深めていく学習へと展開していきました。学習は、一人でもできますが、友達の考えに耳を傾け、自分の考えと比べながら聞くことで、学びは深まっていきます。一人一人がどのように学ぶかを意識して、意欲的に取り組んでみるという姿勢を大事にできると、学習環境は豊かなものになっていきます。



また、身の回りをきれいに整え、きれいな教室、きれいな廊下、きれいな学校にすることも、落ち着いて学ぶことのできる環境をつくることにつながります。牛乳パックをきれいに整理できる学級、廊下の床に物が落ちていない学年、他の学年や学級の清掃のお手伝いをする児童、落ちていた帽子を拾ってフックにかける児童、落とし物を届けてくれる児童がいます。より過ごしやすい学校にするために、自分たちの学校のためにできることを考えて行動できる児童が増えているのは、本当にうれしいことです。

6月は「ふれあい月間」です。一人一人が楽しい学校をつくる一員となって、友達との関わり方を考え、すすんで学び、仲良く協力して活動することに努めていくことができるようにしていきます。今年度は、学級における人との関わりや学校生活への意欲の状況などを客観的に把握し、よりよい関わりをつくっていくことができるようにするために、QU 検査を実施し、一人一人に寄り添ったきめ細やかな指導を行ってまいります。ご負担をおかけいたしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

